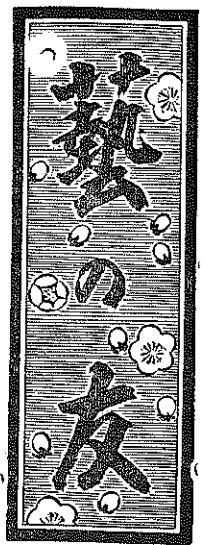


琵琶詩吟名匠録

- 鶴派琵琶史会本部 会主 鶴田 錦史 136 東京都江東区亀戸三ノ丸ノ九 電話(四三三)六四三三番
- 錦心流琵琶派宗家本部 113 東京都文京区本郷三ノ丸ノ三 電話(三三三)七五七四番
- 錦心流琵琶輝派 輝水会山梨縣支部 支部長 志田 錦禪 400 甲府市相生町二丁目四ノ七 電話(35)三三二二・三三二二番
- 副支部長 長谷川 錦侯 405 山梨市小原西 電話(山梨)一〇一〇番
- 幹事長 近藤 錦秋 400 甲府市朝日三丁目十一ノ二 電話(22)八五五七番
- 輝水会北米支部 支部長 福手 錦稜 國風流詩吟師範(國談) 羅府市サマセット通(天)セ
- 薩摩琵琶 齊曲会 164 東京都中野区中野三ノ三ノ六 電話(四九二)九二二番
- 望月 啞江 125 東京都葛飾区青戸五 二丁目一ノ九ノ五
- 吟詠 吟舞 菊水流本部 125 東京都葛飾区青戸六ノ 二丁目一ノ電(62)三三三番
- 大館派琵琶洲楓会本部 家元 大館 洲楓 150 東京都渋谷区渋谷二丁目六ノ 電話(青山)四〇九一(一)番
- 錦心流大館派教授 前田 洲月 166 東京都杉並区成田東三ノ二ノ二 電話(三三三)三三四番
- 錦心流大館派洲城会 會長 野地 洲城 250 小田原市寿町四ノ三ノ七 電話(055)〇九二四番
- 琵琶、詩吟教授 越前 桑名 洲聖 108 東京都港区白金一ノ七ノ二 電話(白金)三六一七番
- 大館派琵琶、詩吟 大館派琵琶、詩吟 359 埼玉県所沢市日吉町七ノ三 電話(26)三三三三番
- 大館派琵琶、詩吟 稲垣 洲玲 154 東京都世田谷区梅丘一ノ一六 電話(26)四四七五番
- 錦心流大館派琵琶 松崎 洲陵 133 東京都江戸川区東小岩一ノ 三ノ三 電話(四五五)五六六番
- 大館派琵琶、詩吟 洲鳳会 山田 洲鳳 160 東京都新宿区新宿一ノ二八 電話(26)六六六七番
- 錦心流大館派琵琶 彼ノ矢 洲友 150 東京都渋谷区本町五ノ〇ノ一 電話(36)三五五三番
- 古水 針谷 錦古 370-12 高崎市岩鼻町二四七 電話(高崎)46二〇〇六番
- 日本琵琶協会の 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目 一ノ七 電話(三三三)七七八九番
- 薩摩正 絃会 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目 一ノ七 電話(三三三)七七八九番
- 薩摩正派番城流琵琶部 城山 正派番城流琵琶部 105 東京都港区芝公園廿一ノ一 電話(四四五)〇七七番
- 岳城流琵琶、詩吟一誠会 岳英 伊藤 長四郎 145 東京都大田区久が原一ノ七 電話(25)三三三三番
- 正派番城流琵琶部 城山会北海道支部 145 札幌市南九条西三ノ一〇 電話(52)二五〇四番
- 薩摩琵琶錦水会本部 吉水 流宗家 吉水 錦翁 153 東京都目黒区中町三ノ二 電話(19)六九三三番
- 薩摩琵琶正絃会 理事長 辻 靖 剛 185 国分寺市東元町三ノ七 事務所 港区西新橋一ノ一ノ七
- 前田 秋声 141 東京都品川区西五反田四ノ二 電話(大崎)八三三三番
- 蘇川流琵琶本部 田邊 錦波 220 横浜市西区西戸部三ノ 二八九(叶花)一四三
- 薩摩琵琶、正絃会 鶴城会 岡尾 鶴城 420 静岡市田町一丁目三三
- 日本琵琶協会 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目 一ノ七 電話(三三三)七七八九番
- 錦心流琵琶教授 静水 105 東京都大田区南千束三ノ三 電話(三三三)七〇七〇番
- 錦心流琵琶教授 廣瀬 綴水 573 大阪府枚方市上島東町四ノ四 電話(07)三三三三番
- 錦心流琵琶 島田 春水 141 東京都品川区小山三丁目一ノ 三 電話(在原)九六一八番
- 錦心流琵琶、澄水会 會長 友吉 澄水 111 東京都台東区浅草二丁目二ノ 六 電話(34)四二五二番
- 一水会埼玉支部長 水会 石坂 南水 332 川口市朝日町二ノ八八八 電話(川口)三二二八三番
- 錦心流琵琶会 主 三浦 蓮水 662 西宮市羽衣町七ノ三四 電話(西宮)三三三三番
- 錦心流琵琶、尾州葵会 會長 稻葉 葵水 466 名古屋市昭和区島田町二ノ 七 電話(四三三)三三三番
- 琵琶、國風流詩吟 國想 高橋 肆水 233 横浜市南区大岡町八三六 電話(73)四六八八番
- 鎌倉琵琶 春山会 會我 龍城 248 鎌倉市長谷二ノ二八 電話(047)九〇二二番
- 薩摩琵琶 古家 絃風 124 東京都葛飾区立石一ノ二ノ 一 電話(葛)五七三九番
- 東京都練馬区豊玉北五ノ十一
- 錦心流琵琶教授 吉野 洲水 916 福井県鯖江市本町二丁目 電話(51)〇〇四四番
- 北陸琵琶同好会本部 會長 田中 歷水 930 富山市太田口通一丁目六 電話(21)三三三三番
- 錦心流琵琶、詩吟教授 會長 田中 篁水 920 金沢市天神町二丁目六ノ三 電話(076)三三三三番
- 錦心流琵琶 愛吟会 山田 幻水 237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(046)三三三三番
- 錦心流琵琶教授 紅水会 平野 鉦水 249 逗子市桜山三丁目三ノ三 電話(046)七七八六番
- 玄象会 弘 沢 雨水 113 東京都文京区西片町三ノ二ノ 三 電話(83)一五五五番
- 吟詠教授、吟松会 會長 中村 松聲 430 浜松市東区谷町三七一ノ一 電話(53)七六六〇番
- 錦心流琵琶速水会 會長 山口 速水 116 東京都川崎市西日暮野三ノ二 電話(044)九一九三番
- 錦心流一水会中央支部 幹事長 戸谷 曙水 110 東京都台東区下谷二ノ八ノ 九 電話(三三三)一三五番
- 日本琵琶振興会本部 錦川 鈴木 密水 343 埼玉県越谷市東方二ノ三九二 電話(046)二四一三番



琵琶特集 十二月号

昭和45年を送る

昭和四十五年も余日渺なく、將に暮迫るの感を覚ゆ、今年は千九百七十年と我國にとつて、活期的多事且つ多難の年で、内政外交上に最も苦勞の多い年であつたが、又世界未曾有の大事業を成し遂げて全世界を驚かした、それは大阪で開催した万国博覧会で、参加十七ヶ國、観覧入場者実に六千万人を突破し、万博開始以来空前の業績であつた。

我が琵琶界に於ても、芸の友社創立二十周年の記念行事、福会旭会、一水会、三大団体の行事全體會が、何れも盛大に行われて成果を挙げ、別して錦心流一水会の錦心祭は極めて効果を収められた。その他の公演としては、水藤錦櫻の新作発表会、原島旭班会、吉田旭明五十年記念会、更に横須賀連盟十周年記念、返子絃和会創立十周年、彦根山本旭城五十周年、林田旭華さんの旭城襲名披露と、多彩の大会が各地で開かれ、東京でも、日本琵琶協会の、今秋始めて他社との提携を切つて、自立で演奏会を披いて成功し、全會員を喜ばせた。各派各会の大例會も皆好評の成果を取めたのは同慶の至りである。

この世界進歩の功果を取めた反面には、今年は幾多の名手を失うたことは痛恨の限りで、一月に京都の山田鶴水氏、新潟の若月福水氏、三月に石田琵琶店主、大阪の馬瀬鶴水氏、四月福岡の高倉旭子女士、五月に伊藤長四郎氏夫人ナカ女史、中沢錦水氏、七月甲府窪田錦晃氏、九月鹿兒島池田天舟氏が相ついで他界されたことは惜しまれてならぬ。

今年誕生した岳城流誠樹会の健やかなる伸張を切望する。

一方吟詠界の進展は素まじく四月錦城会の鹿兒島に於ける全體會の盛儀は、山元錦城宗家の、錦衣掃部として後世に伝う成果であり、日本詩吟学院、一誠会外の大会も極めて盛況で、各地方に於ける大会も華々しさを競われたが何といつても日本吟詠詩舞振興会の全国吟詠詩舞道大会の盛儀は、日本芸界最高の精華であり、權威である。

本年特筆大書すべきは、鶴田錦史と横山勝也両氏の、外務省派遣文化使節として歐洲ドイツ、フランス外二ヶ國へ派遣されたこと、公演成果を収められたことで、茲三年間に米國や、昨年のオラン

ダ公演と異り一層の權威を増したもので、邦楽のため洵に喜ばしい。今茲に四十五年を送るに當り、各位の御健闘に敬意と感謝を表し幸多き御迎年を切望す。

琵琶コンクール 入賞者の横顔

日本琵琶協会の主催の四十五年度琵琶コンクールは、九月二十七日東京銀座交詢社にて行われ、受賞十七名中、左記六名が入賞し、数名の秀技者を選出して終了した。一位より三位までの入賞者六氏は前号で発表したので、茲に六氏の横顔を紹介する。

一位 須田誠舟氏

新人の登竜門として琵琶コンクールを始めてから十年、薩摩琵琶人が一位を占めたのは今回が初めてである。大学生の新人で、岳城流城山会より、辻靖剛元老に師事研究中の青年であるが、実に明るい器用の方で、未来の大成を囑望されている。

二位 広瀬翠紅さん

翠紅氏の第一人者で、宗家竹下師の右の腕と定評の巧者、コンクールの

入賞は今回が初めて、闊秀書家として書道界特選組の花形であり、書藝を開き、生花、茶道も教授し、琵琶の人氣の焦点。

二位 宮崎洲香さん

錦心流大館派一門の名人、前田洲月女師の指導を受けている新進の花形美人で、この道に這つたのは、昭和三十九年六月、同年十一月初伝四十二年十一月中伝、四十二年十一月奥伝を許された、全くこの道數年の新鋭で、コンクールの今回初出場で、而も二位獲得とは驚異に価する巧者で、吟法の花形名手でも知られる。洲月師が秘宝とする艶麗明朗の温和な佳人である。

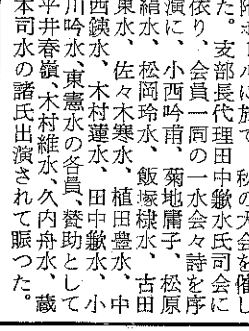
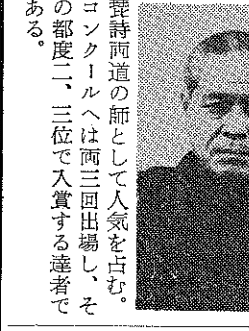
三位 山田洲鳳氏

大館洲楓会本部の中堅巧者で、吟道の巧者、多くの門下を養成し

今年新設された一水会の多摩支部所属の名手で、昨年のコンクールの出場入賞して一躍名手を上げた。今回は二回目の入賞で、御本人としての自信もつき斯道の前途洋々たるものありというべし。優位獲得までの奮闘を望んでおく。

三位 加藤喜水氏

錦心流琵琶一水会大阪支部では神戸支部、京都支部の後援を得て、十一月十四日府立婦人会館三階ホールに於て、秋の大会を催した。支部長代理田中敏水氏司會に依り、會員一同の一水会々詩を序演に、小西吟甫、菊地庸子、松原絹水、松岡玲水、飯塚穂水、古田東水、佐々木蓮水、植田豊水、小川欒水、東憲水の各員、賛助として平井春嶺、木村穂水、久内舟水、蔵本司水の諸氏出演されて賑つた。



昭和四十五年十一月一日発行

非売品

編集兼発行者 鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ十一

友の友社

芸の友二十年の回顧

(四)

昭和四十四年

一月 筑前琵琶橋会宗範山元旭師の東京進出十五周年記念琵琶大会が丸の内第一生命保険会社ホールにて催された。

伊東市の錦流宗家入谷錦鳳師のレコード吹き込み記念大会が同市で催された。

二月 鶴田錦史師三度目の米国公演のため渡米された。

三月 吟舞菊水流宗家永田詠泥師の新作発表会が隅田劇場にて、音楽評論家で日本琵琶協会の副会長吉川英史氏の還暦祝賀会が帝國ホテルにて催された。

筑前元老高倉旭子老師が郷里福岡県へ移住のため東京を引揚げられた。

四月 創立会の公演に於て鶴田師が三絃琵琶の演奏を発表した。北米羅府の巨匠沢岳巴城師がこの月逝去された。

五月 筑前琵琶橋会再組織後初の全国大会が大阪にて開かれた。山元錦城師の詩吟錦城会の十五周年記念全国大会が東京虎の門の日本教育会館に於て挙行す。この月錦心流一水会本部副会長石坂鏡水師が死去された。

六月 女流だけの琵琶会が鶴田錦史さんの主催で開かれた。日本詩吟学院の吟詠全国大会が九段会館で開かれた。

七月 一誠会々々長伊藤長四郎師が一誠流宗家を宣言された。

八月 筑前琵琶の有力支援者であった大学教授で弁護士の大津民蔵先生が急逝された。

九月 詩吟錦城会の機関紙「錦友」の五十号記念祝賀会が東京忍池畔東天紅にて開かれた。

十月 大阪山崎旭琴会の東京支部が結成され、その披露の旭琴会全国演奏大会が開催された。

入場千五百余

錦古流記念大会

輝く針谷師徳望

群馬県下の芸豪、吟界の王者、錦古流宗家針谷錦古師の、錦古流創立十五周年記念吟詠大会は、既報の如く去る十月十八日九時半より、高崎市で開かれ、県下新聞社、各界方面からの声援も多く、入場者千五百名を突破する大人気で、針谷宗家の徳望の程が示された。師は日常勤勉力行、自ら至誠の範を垂れて社会人演義化に尽される良師で、現代芸界界隈に見る篤行が今回の成果を収められたといつても過言ではない。この大会の後援者である市長を始め、県下出身の大員、代議士、県、市議会の各議員や各種団体が挙つて、針谷宗家を讃え、声援されたのもむべなるかなであらう。演技は「上毛三山」の大合吟に始まり、最終の琵琶入り詩吟舞「川中島」まで、

十一月 琵琶後援者鈴木鉦次郎氏に対する感謝会が上野精養軒にて挙行され、全国有志三百余名よりの記念品が贈られた。

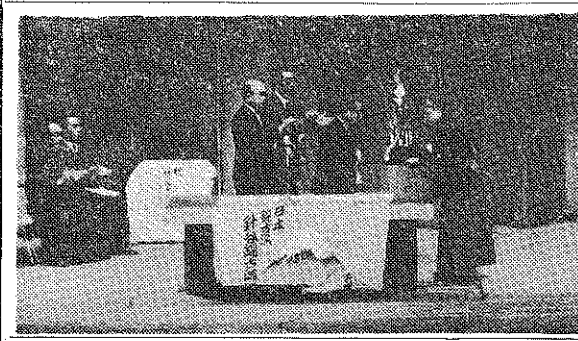
笹川良一会長の日吟詩舞振興会は、名誉総裁に高松宮妃殿下を推戴し第二回大会を九段の日本武道館にて挙行大盛儀。

十二月 鶴田錦史師が四度目の米国公演に出発。帰国後更にオランダより招聘で初渡欧へ。

欧州で琵琶公演が未曾有の事。吟詠水流水流宗家佐藤岳水師が長

百二十五題が上演され、華々しい妙技の競争で満場の聴衆を酔わしめ、素晴らしい好評を受けて終了した。

写真はトロフィ授与の針谷師



以上は芸の友創刊以来昨年までの二十六年間に於ける特殊な催しや有名演奏家の消息の一部に過ぎない。著名人や功労者としての故人となられし方に京都の安田旭邦大阪の菊地湧水、河瀬碩水、筑紫旭一、神戸の石井旭勢、東京でも三好旭天、相良鶴陽、足立声光の各氏は特に功績を残された。

一誠会の吟詠と詩舞の会

一誠流宗家伊藤長四郎師一門の一誠会では、一誠会吟詠と詩舞の会を、十月二十五日江東公会堂にて開催、開会の言葉の後、国歌斉唱、明治天皇御製奉誦、一誠会詩吟の合吟あつて、第一部合吟コンクールに入る。所属各会別に三十組出演、続いて昭和四十五年度吟詠コンクール上位入賞者吟詠の後、一誠流宗家会長伊藤長四郎師のメッセージ、一誠会副会長、一誠会後援会長の御挨拶があり、特別出演山流本部師範に依る詩舞「聖徳太子」武道館出吟者で楓橋夜泊を上演、第二部自由企画に移る。第三部特別番組(本部企画)迄に全百二十九題を上演して終了。

同会では昭和四十六年度吟詠会を、一月十日九時より江東公会堂に於て、又伊藤長四郎師道五十年一誠会創立四十周年記念大会を、五月三十日、神田共立講堂に於て盛大に挙行されると。

函館吟詠連盟の会

函館市大手町の高橋蘇水氏方に事務所を置く函館吟詠連盟では、函館市民文化祭参加の吟詠と琵琶の大会を、十一月七日大森町函館ロイヤルにて開催、吟詠、琵琶の外義太夫、三曲等もあつて多彩な催し、聴衆を喜ばせて盛況、全八十題の内琵琶は、会津白虎隊、森水、屋島の誉、高橋蘇水と、若柳流四名に依る琵琶舞踊「曾我兄弟」に琵琶で高橋蘇水氏が出演。

錦城会各地の会

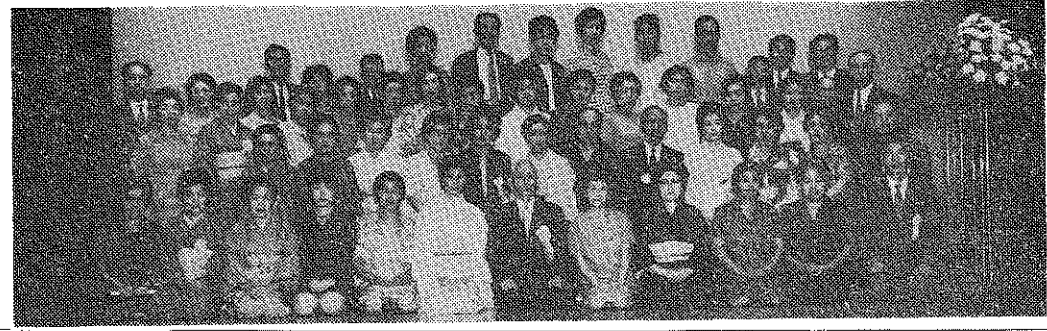
松山支部十周年記念

愛媛県本部大会

九州から北海道迄全国に支部を置き、寧日なき活躍を続けている錦城流宗家山元錦城師統率の、錦城会では、松山支部十周年を記念し、愛媛県本部大会を十月十一日十時より、松山市民会館中ホールに於て開催、東京より山元錦城宗家を始め幹部多数応援出演、全国各地からも賛助出演あつて、百拾参題を上演盛況。

東大阪支部大会

錦城会東大阪支部の第四回大会は、十月十一日十一時より、大阪市中区森之宮、大阪府立青少年会館にて催され、錦城会滋賀県本部長山本城嶽師範外多数の応援を得て、佐伯錦瑞東大阪支部長始め全員日頃の修練を披露、「宝船」の大合吟迄百三十題を上演して盛況を極めた。



山崎師の琵琶

光掾会全国大会 大阪で成功す

筑前琵琶橋会の権威、宗範山崎師の全国大会は、去る九月十九日大阪高麗橋の三越劇場にて開かれ、東京より全国大会委員長安藤光師より旭琴後援会長久徳正彦師首脳、全国出演大家に、宗家始め板谷、三木、佐伯、西川、井坂の江本、友田、小野、九州の名匠連地元京阪神の名手数十名が美技を競い、満員近い大衆を感激させ大好評を博した。(写真は当日の記念である)

歐洲へ文化使命果し

鶴田師帰国

外務省派遣文化使節として、十月二日羽田発渡欧された、鶴田錦史と、尺八の横山勝也の両師は、ドイツ、ユーゴスラビア、チェコスロバキア、フランスの四ヶ国



(鶴田錦史師)

への文化使節としての使命公演は至る所素晴らしい人気で迎えられ各地共満員の盛況で、日本芸能の

大阪緞水会の青年部演奏会

関西錦心流の元老、大阪の広瀬緞水門下の大阪緞水会青年部では部員の企画立案に依る第一回演奏会を、十月二十五日午後一時より、大阪市南区の自安寺新館ホールにて開催、中山鳳水、馬場鴨水三浦運水諸氏の特別出演もあつて盛況、プログラムは、

豪華演技で魅了 晴風会大会成功

東京琵琶両道の匠匠浅野晴風師一門の晴風会年一回の秋の大会は、十一月七日午後一時より、中野区公会堂の大会場で開かれ、一門の開演に先立ち晴風師自ら「旅」の新作発表を行い、つづいて會員の吟詠、琵琶が上演され、曲の進むにつれて巧技が牙を露せ、加わる。晴風会幹部級と協賛の菊々流吟舞、吟詠の競演、また、押川旭葉、前田洲月、石田脩水、鈴木密水、若水松松、谷暉水、水藤錦、会主浅野師との熱演は、近年稀な緊張感に他会では聞かれぬ素晴らしい聴物で、全聴衆を感激させ大成功であった。

京北協秋の会賑う

東京琵琶界池袋中心の各星として名高い千葉玉山師と、中央支部随一の人気者戸谷暉水幹事長が中核となつて運営され、益々人気を呼んでいる京北琵琶協会の恒例秋の会は、十一月十四日夕五時半より池袋東口文化ホールに於て開かれ、詩吟と琵琶と詩吟舞の演奏の後琵琶公演が続行され、重田玉袖、出口石水、輝錦司、輝錦耕、押谷君水、橋本草水、輝錦舟、戸谷暉水、最後に千葉玉山師「大菩薩峠」を熱演し、大衆をいたく感動させて大拍手を受け、大賑いであつた。

鹿兒島琵琶弾奏会

第十八回鹿兒島市民文化祭参加の琵琶弾奏大会が、十一月十五日午前十時より、城山共済会館で催された。主催は鹿兒島市教育委員会、南日本新聞社、南日本放送、薩摩琵琶同好会の共催で、東京よりコンクール一位入賞の須田誠舟氏と、大阪より関西琵琶協会の長老岡部錦蝶女史が特に参加され、地元鹿兒島県無形文化財保持者の萩原竜吉、坂岡武二の御両人始め安田幸吉会長の薩摩琵琶同好会々員に、筑前の名花柿木旭利さんも出演され、琵琶どころ鹿兒島の琵琶の真髄を發揮し終日賑つた。

故池田天舟師追悼会

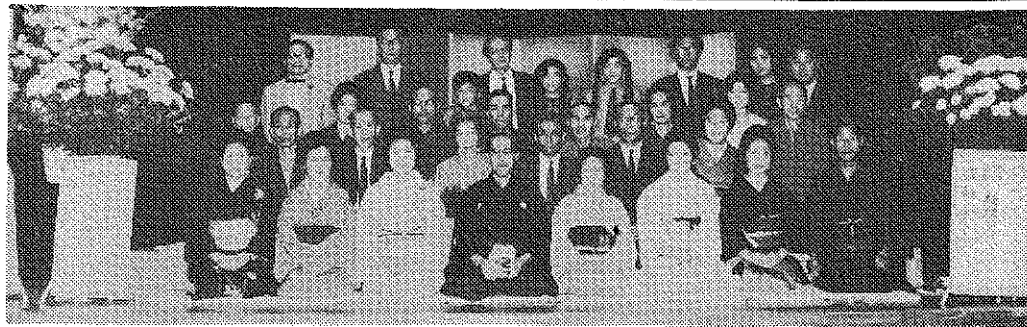
鹿兒島の薩摩琵琶同好会では、

電話開通

筑前琵琶橋会宗範、大和流琵琶宗家山崎旭琴(光掾)師宅に、今回電話が開通した。

局番〇七二六(71)六五八〇番

絃和会創立十周年記念大会



(写真説明) 去る十月十一日逗子市立図書館大講堂で催された感況を極めた、絃和会創立十周年記念大会の写真で(前列)向つて右二目より、富士松菊登志、石渡純華、齋藤珠水、平野銚水、水藤錦輝、都錦穂、新部桜水、(二列目)齋藤榮二、姉崎鉦枝、鈴木琢水、内田琴水、平野喜子、曾我竜城(三列目)会主平野氏後、小林鶴水、石井桑水、末吉希水、山田幻水(後列)田中茂、一人おいて宇井、二人おいて中沢清志、森澤水、藤川晴水

絃和会大会概況

絃和会創立十周年記念演奏大会は、逗子市第二十回文化祭参加として、既報の如く、逗子市教育委員会、逗子市文化協会、一水会本部及湘南各支部、錦琵琶本部後援の下、十一月十一日逗子市立図書館ホールにて開催された。

舞台正面の金屏風の左右には、松岡省三氏(具議長)より贈られた生花を始めとし、横須賀琵琶連盟、その他各界より寄贈の生花が飾られ、華やかな色彩を与えた。小山田一水会長、宮原副会長、錦琵琶宗家、湘南地区大家連それに東京からも随連者が参加しての事として、開演前から早くも聴衆が詰めかける盛況であった。錦一門の絃で、平野氏が語る静の舞に花柳寿々照さん振付の舞を、花柳照重紀さんが演じたのは艶麗極りなかつた。又曾我竜城氏(お夏狂想)花柳寿々照さん振付自演は、舞踊界に画期的なものとして注目される。

靖国神社秋祭り奉納演芸で賑う

護国の英霊を合祀する日本一の神社、東京九段靖国神社の秋の例祭は、十月十七日より十九日迄三日間行われ、今年も十八日勅使の参向もあつて一際参拝者も多く、境内能楽堂に於ては、各芸能の奉納演芸があり、詩吟、舞曲、琵琶、舞踊、民謡、奇術、詩舞等盛況に展開されて参詣者を喜ばせた。

琵琶奉納者は、板倉穂水、柴野浩水、中谷巖水、長谷川旭苑、柴田水、末吉希水、反町昇水、山口速水、鈴木琢水、内田琴水、小池幸水、宮崎洲香、前田洲月、岡田旭苑、佐久間旭苑、高野旭美、原島旭雄の諸氏による合奏六曲であつた。奉納世話役杉山清峯氏は琵琶人を代表して勅使参向をお受けし、また仲川、杉山西世話人のお世話ぶりも懇切で、奉納の皆さんより好評であり、祭礼毎に奉納希望者が多い。

清吟会一泊旅行

清吟会は、去る十月十八日、同会々長、岩田錦呈氏の招待を受け氏経営の岩田塗装工業KKI伊豆浮山高原保養所に一泊の慰安旅行会を催した。同日午後三時半頃現地の窓から日没まで海の白波、山の青を眺めて身心を安らげ、夜に入つて懇親会、宴酣にして各々天狗の鼻比べをやつて飲を尽し、翌十九日正午近く、一同会長の好意を謝しつつ散会して帰路についた。

当日参加の諸氏左の通り。

岩田会々長、南錦霞、西錦翠、潮錦燕、中村錦景、中村錦道、大森錦長、大井錦淀、西村錦風、新部錦水、原梅水、後藤孝、新谷桂水、吾妻江風、橋本草水、杉山雅俊、村木桜柳、豊島翁水、望月暉江、(寄稿望月暉江氏)



(石河薫楓師)

栲友演奏会盛況

名古屋が生んだ流近世の名匠、故三輪純水師の遺業を継承し道徳信義の人道鼓吹に尽す栲友会の秋の琵琶演奏会は、十月十八日午後一時より、中小企業会館にて催され、奥村慧水、水谷浩水両首脳を始め、神藤、小林、大西、谷津、三輪、丹野の各会員と、新進花形連も参加し、一水会名古屋支部の、香澤響水、土川吟水、森田紅水三名手も特別参加で、また東京の島田春水、逗子の平野銚水両新鋭大家、女流の野川さんも初来演で妙技を揮われ好評を受け、地元石河薫楓女史の「大楠公」の傑作が一段の人氣を沸かし、稲葉葵水氏の挨拶もあり大人気で盛会であつた。

加藤錦陽氏へ

三鷹市政功労章

三鷹市文化芸術界の功労者、錦流琵琶の加藤錦陽氏に対し、三鷹市制施行二十周年を記念し、十一月三日功績を表彰して、市政功労章を授与されたのは喜ばしい。

三浦蓮水会の琵琶吟詩舞大会満員

京阪神ついで琵琶界の人氣花王西宮市の三浦蓮水水師の蓮水会主催の文化祭参加琵琶吟詩舞の会は十一月一日夙川の松下記念館ホールにて開催され、開始早々より好評の入場者が賑い、大入り満員の盛況で終日を飾つた。詳細次号

山本師五十年 林田旭城襲名 記念大会超満員

筑前琵琶界随一の妙曲巨匠と謳われた、彦根の山本旭城師は、琵琶道五十周年を迎え、茲に業成り名を遂げて、我が芸名旭城と共に数十年前手がけて指導育成された旭城会員と共に、最愛の高弟、林田さんに委譲し、自らは後見となつて、今後の指導に尽力されると決意され、林田さんは、輝く恩師名を継承し、数年前樹立の旭華会も、旭城会一本にまとめ統率する

四の絃

日本の琵琶も三三、四年の間に、日本の伝統音楽から世界の音楽へと大飛躍し、音楽家の社交の程向上し、社交は進展を早めて来た。琵琶が世界の最高の音楽と認識されたのは、鶴田錦史さんの渡米以来のこと、同師の非凡な作曲の芸才が、今日あらためたもので、只でさえ戦後の琵琶は鶴田さんの厚意による支援の力が大きく、復興の神祕と尊敬している人も少なくない。毎年の如く欧米を訪問しての公演には、只々感謝の外はない。昨年は、十一月には鈴木鉦次郎氏の琵琶人支援に対する感謝を込めた、感謝会が上野精養軒で催され、一つの美談を生んだ。この時の参加勧誘状は五百通を出したが、参加は三百数十名で、知

こととなり、その披露記念演奏大会が、十一月一日午前十一時より彦根市民会館にて挙行され、秋晴れの好天に恵まれて、好調の秋晴に拍手をかけ、大入り満員の盛況であつた。

出演会員の意気込みも、洋々の張切りであり、地方より協賛名手も素晴らしい意気込みで巧演競技を示し、名士の祝詞や御挨拶も山本師の人格を讃え、徳を讃歌するもの、新旭城師を讃える等、真に記念大会の雰囲気溢れ、盛会を極めた。

大会終了後、関係者を近江プラザホテルに招待し、盛大な記念披露の祝宴を張り歓待された。

らぬ顔の半兵衛を極めこんだ横着者が、約三分の一とは、礼楽芸術の集いでも、非礼者は随分居るものだ。しかしその中に、有名無名ニセ紳士もあるに至つては意外である。今年四月に、本社の二十周年記念祝典を同じ、精養軒で挙行し、皆様の御厚意に衷心から感謝を表している。琵琶界として、今後なすべきならぬ事は、各流派の大同団結である。各流派が個々の感情や、行がかりにとらわれ、琵琶一丸となる機会を失うと真の斯道の大発展は望み薄となろう。今日詩吟界の大発展を見るべき、琵琶人等し考えさせられるものではあるまいか。国家に認められる有力な芸能団体とならなければ、無形文化財の指定も、叙位叙勲の推薦申請も母体が無いであろう。全国各流派の大家中に

江楓流詩歌吟詠の会

中京に在つて吟界に君臨する篠田桜峰門下より出て、江楓流宗家

は、文化功労者として表彰されてもよいと思う人も少数ではあるまい。あえて一考を煩わしたい。人の運命とか、災難は、何時、何処で逢うか判らないものだ。常に健康体を保持して居た本会鈴木社長が、九月四日自宅付近で、オートバイに打ちつけられ、大腿骨骨折の重傷で入院されている。災難とゆうか、不運とゆうか、秋の琵琶シーズンに前に全くの不慮の苦難とゆう外ない。幸に経過は良く生命に別条ないが、三ヶ月以上に及ぶ入院で、老人の受ける苦痛は言語に絶するもので、今秋各地で催された、各種大会への声援や祝賀は全部が不能となり、泡夢となつた。これも運命の支配とあきらめて、明年から出直しを心がけますので、宜しく願います。

大賑いであつた 花房会秋の研究會

筑前琵琶橋の長老で、詩舞花房流の家元である、花房会花方旭嶺老師の指導する吟詩舞研究会が十一月八日、目黒区の名料亭八芳園にて催され、第一部詩吟の部、第二部詩舞の部、第三部琵琶の部、各部二十余番宛を上演、妙節優技を競つて終日を賑わしたが、来賓に、木下旭竜、松村旭奎、井坂旭良、佐藤旭天紅、木村旭桂さん等の姿も見え、非常に賑いであつた。

見舞に感激、治療に専念して参りました。お蔭で経過は殊の外良好で、明るくは亦皆様に親しく拜眉を得られるものと存じます。

前号既載以後(十月十六日以降十一月十五日迄)、病院退治お見舞下さいました方、お忙しい中を有難うございました。御芳名左に記します。(敬称略)

平井洲誠、安藤光雄、竹下翠風、竹下光彦、張本礼子、須田旭綱、桂子、赤津登喜枝、鈴木誠一郎、出口石水、仲川秀邦、都錦穂、原田旭鳳、広瀬翠紅、三瓶文子、鶴田錦史、伊東入谷錦風、大館洲楓、ロスアンゼルス大坪旭邦、大坪静

又自宅宛お見舞の御芳情お寄せ下さいました方、御貴名左に記し、謝意を表します。

函館高橋藤水、秋葉芳水、水島一郎、望月暉江、永田吟澗、大阪松原竜山、甲府窪田時子、高崎針谷錦古、富山広田緑水、名古屋北川旭俊、鈴木旭美、錦路伊藤麗水、長崎池川旭泰、加藤錦陽、名古屋松本旭柳、金沢田中眞水、石田春子、若水桜松、金沢水谷充水、一水会金沢支部、京都大野俊月、荒川洲帆、横浜両宮園風。

赤心会の琵琶會

静岡市の琵琶と吟界の闘將として、全国的に知名の、赤心会会長鶴堂師は、十一月二十一日正午より、静岡県婦人会館に於て琵琶演奏会を開催し、地元静岡を始め、東京、横浜、藤枝、浜松、京都より、知名の名手が参加出演して琵琶詩道の競演に花を咲かせ賑つ

彦根で好評の 仲川秀邦さん

東京正絃会の名花で、器用名手として有名な仲川秀邦さんは、去る十一月一日、彦根文化会館に於ける山本旭城師琵琶五十年記念と林田旭城さんの襲名披露琵琶大会へ招待されて出演し、数年前振りに深い芸風を聞かせ、満員の聴衆の絶賛を受けられた。

菊風会本部の会

福岡で活躍されている菊風流宗家藤井菊風氏の菊風会本部では、筑紫舞新作発表と共に名流芸術祭典を十月十七日、福岡市中央の明治生命大ホールで開催、企画、構成藤井菊風、振付筑紫宗仙で全十四題を上演賑つた。

速水会忘年演奏

十二月五日午後二時 浅草 雷中会館

一水会本部理事で、琵琶専門家として全国的に活躍する大家、山口速水師指導の速水会では、恒例の忘年演奏会を、十二月五日午後二時より、浅草雷中会館にて催すと、出演は、速水師一門の会員と、本部並に各支部の所属名手三十余名が予定されて居り、当日の賑いと思われ

